

ビッグイシューの仕事づくりから見えた若者ホームレスの問題と
その予防に向けた社会的困難を抱えた若者応援ネットワーク展開事業



認定NPO法人 ビッグイシュー基金
長谷川知広



こういう人を街角で見かけたことはありますか？



© 横関一浩



しくみ



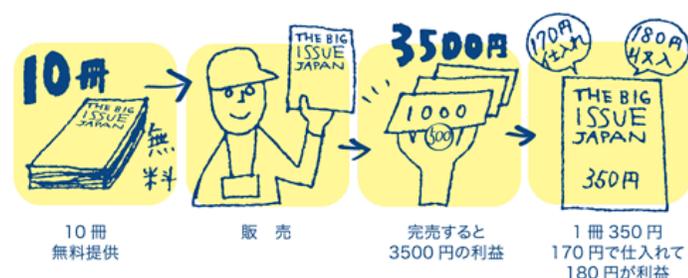
①質の高い雑誌を作り

②ホームレスの人だけが路上で売れる

“独占販売”

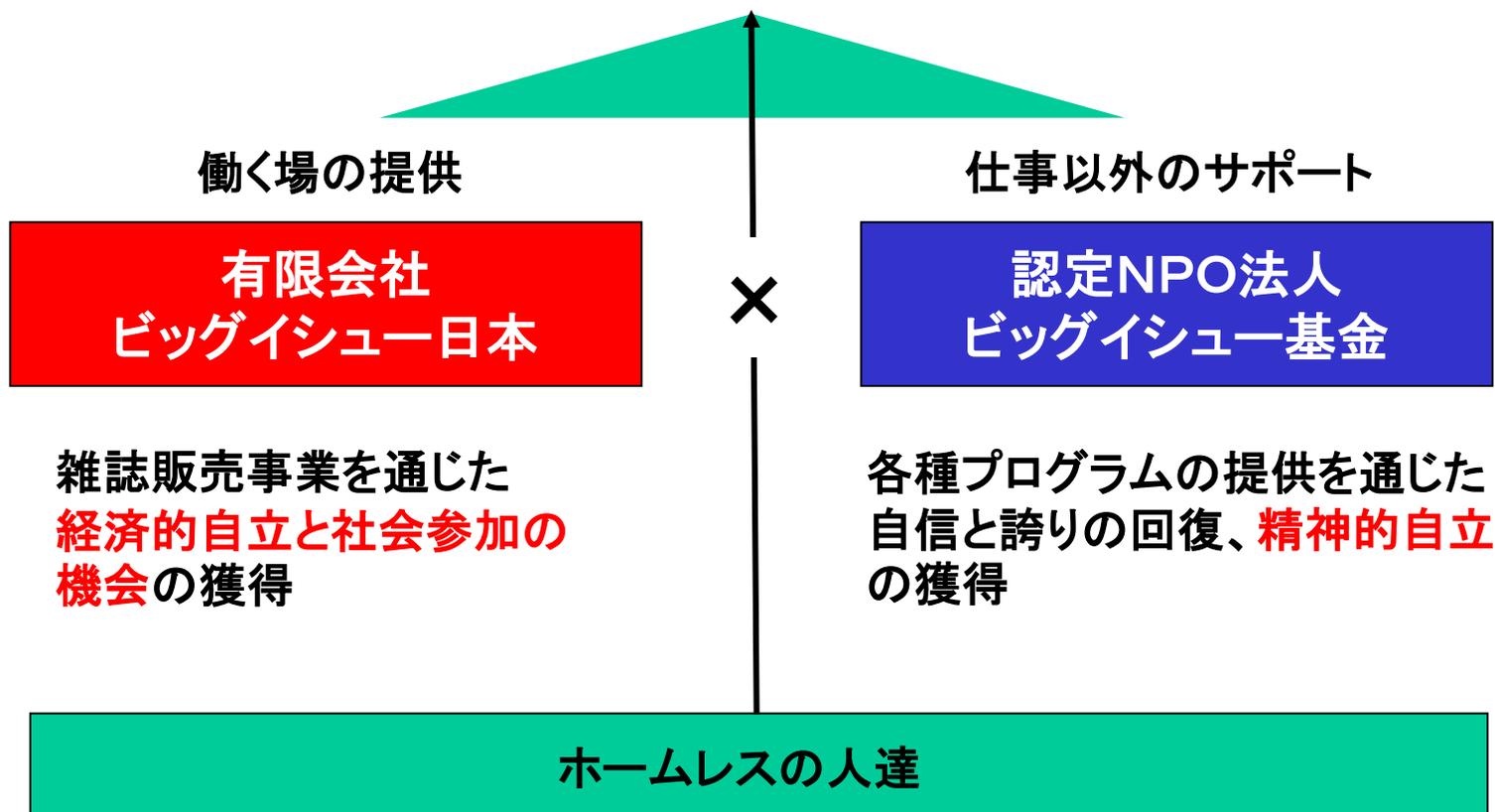
《特集テーマ》

セクシャルマイノリティー、セルフヘルプ(出所者、依存症、精神疾患など)、若者の貧困・・・
元素、海賊、きのこ・・・



※1冊350円。
うち180円が
販売者の収入に。

ホームレス状態からの脱出と自立



ビッグイシュー基金のとりくみ

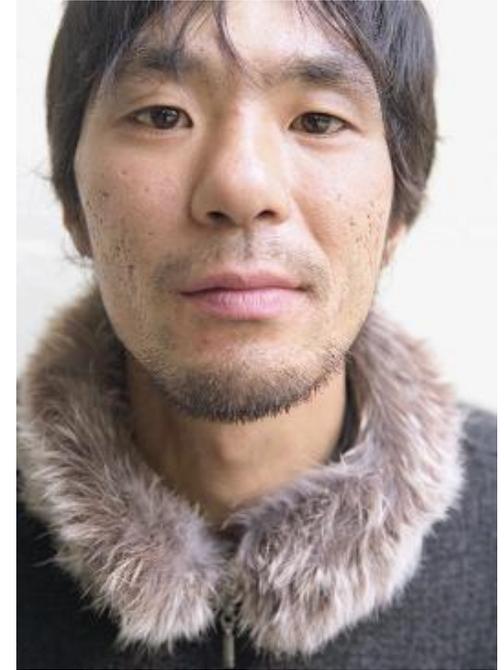
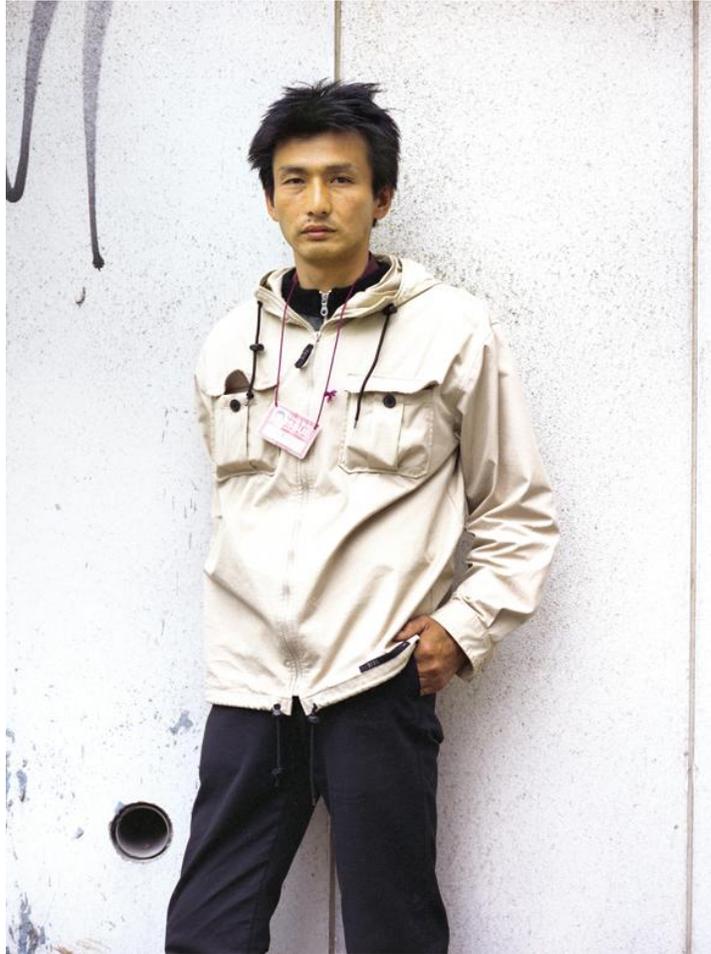
ホームレスの自立支援を多面的にサポート

2007年9月に発足。

ホームレスの人々に対して、**生活自立・就業・文化活動**などの支援を総合的に行っている。また**市民の参加と交流**の場を提供している。**貧困問題の氷山の頂点**とも言える**ホームレス問題**の解決に寄与することを目的とする。

→2012年7月、**認定NPO**法人となる

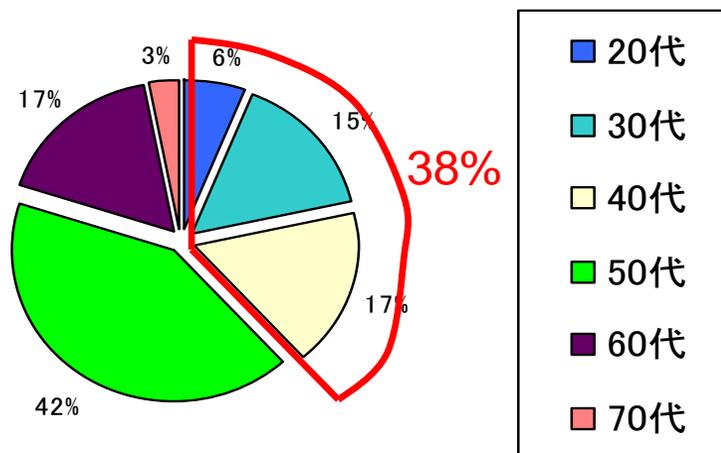




当時のビッグイシュー日本東京事務所での大きな変化

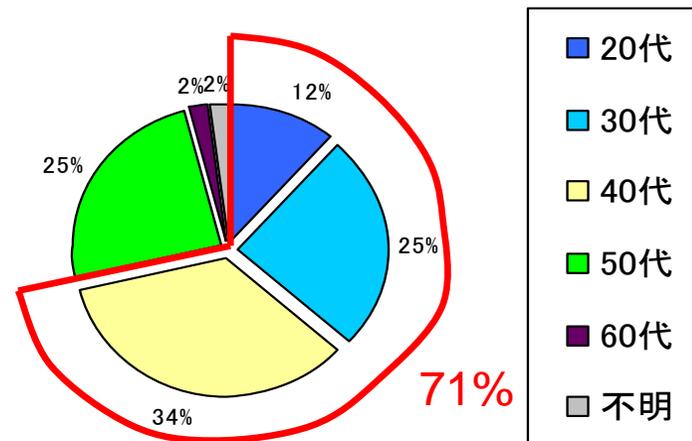
‘08年9月の世界同時不況後、20-30代の販売登録希望者が急増
→「若者ホームレス」の存在に気づくきっかけ

グラフ① 販売者 年齢別構成割合
(09年7月17日時点)



平均年齢：50歳

グラフ② 新規販売希望登録者 年齢別構成割合
(09年5月15-8月30日の期間)



平均年齢：40歳

2003 ①と②の比較から、09年5月以降登録者は、40代以下の若年層が増加していることがわかる。

【20代+30代合計】21%→35% 【20代+30代+40代合計】38%→71%

7月17日時点の販売者の平均年齢と、09年5月～8月に来た新規販売希望登録者の間では7平均年齢に約10歳の開き。

若者ホームレス50人聞き取り調査

2008年11月～2010年5月

ビッグイシュー販売者

+ 炊き出し等で声をかけた人

平均年齢32.3歳(男性のみ)

路上期間は6割が1年未満

7割が仕事に関する理由で路上へ

※若者ホームレス

40歳未満。路上+民間宿泊施設(終夜営業のネットカフェ等を含む)に宿泊している人

若者ホームレスについて

どうして若いホームレスが増えているの？

若者ホームレスって？ —素朴な疑問

1 見かけたことがないけど？

どのような生活を送っているか？

2 なぜ実家に帰らないの？

どのように育ってきたのか？

3 なぜ働かないの？

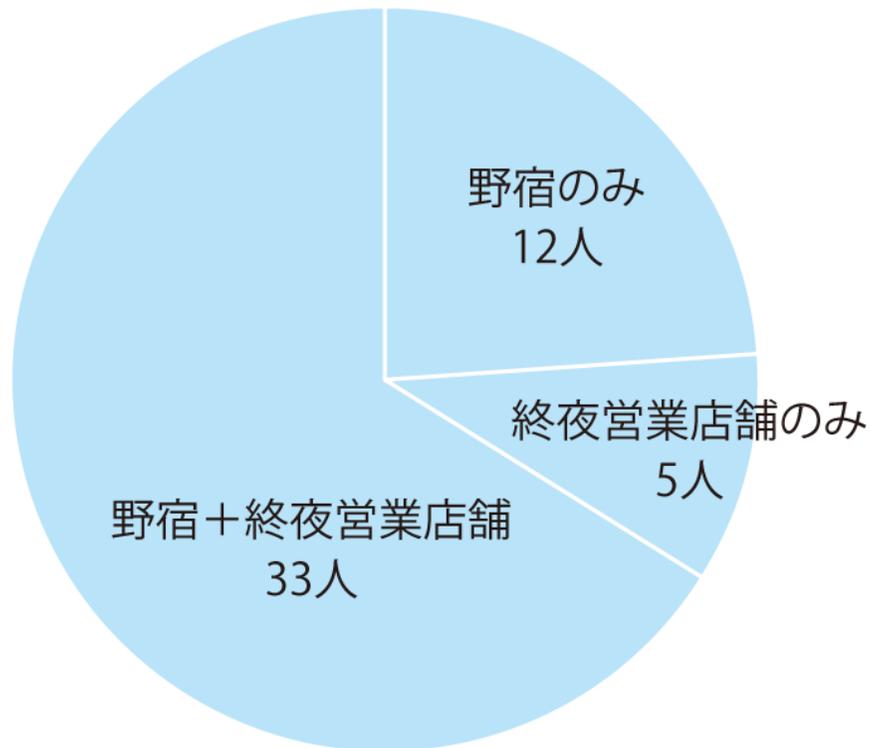
どんな仕事をしてきたのか？

疑問1

見かけたことがないけど？

彼らはどのような生活を送っているか？

主な寝場所



見られる傾向

- ・食べることより身なりが大事
- ・路上で寝るのが怖い
- ・ネット、携帯電話は欠かせない。
- ・炊き出しに行くと“ホームレス”に見られるから嫌だ

疑問1

見かけたことがないけど？

彼らはどのような生活を送っているか？



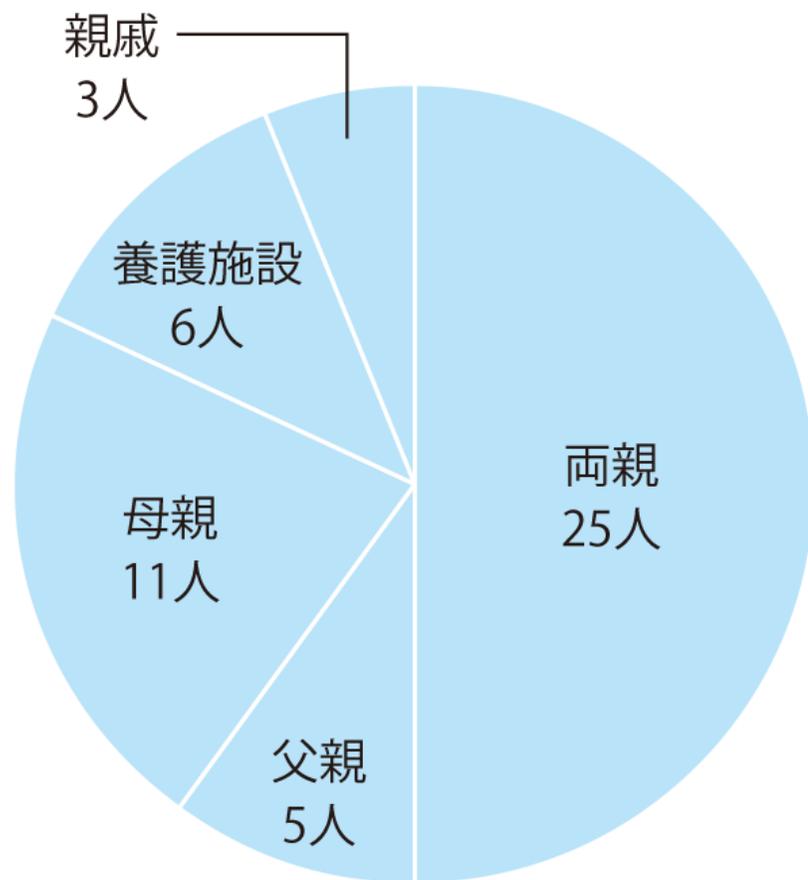
- ・見た目が「普通の若者」であるため、存在に気づかない
- ・路上にいるとは限らない
- ・ホームレスであることに嫌悪感を持っている場合が多く、支援につながりにくい

疑問2

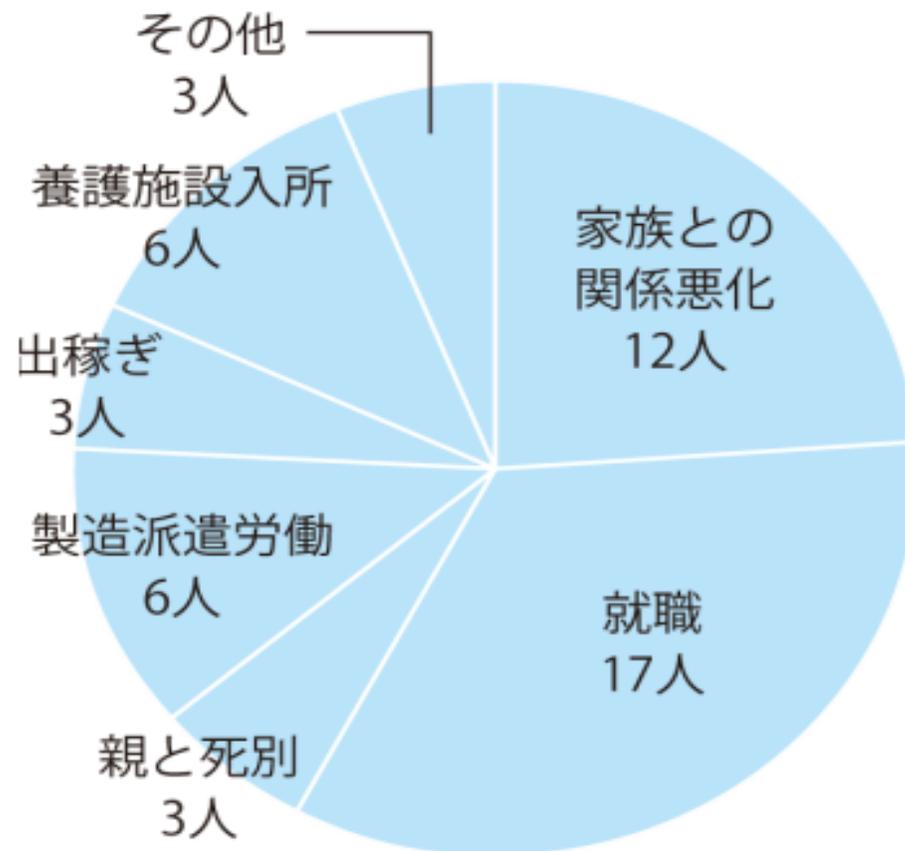
なぜ実家に帰らないの？

彼らはどのように育ってきたのか？

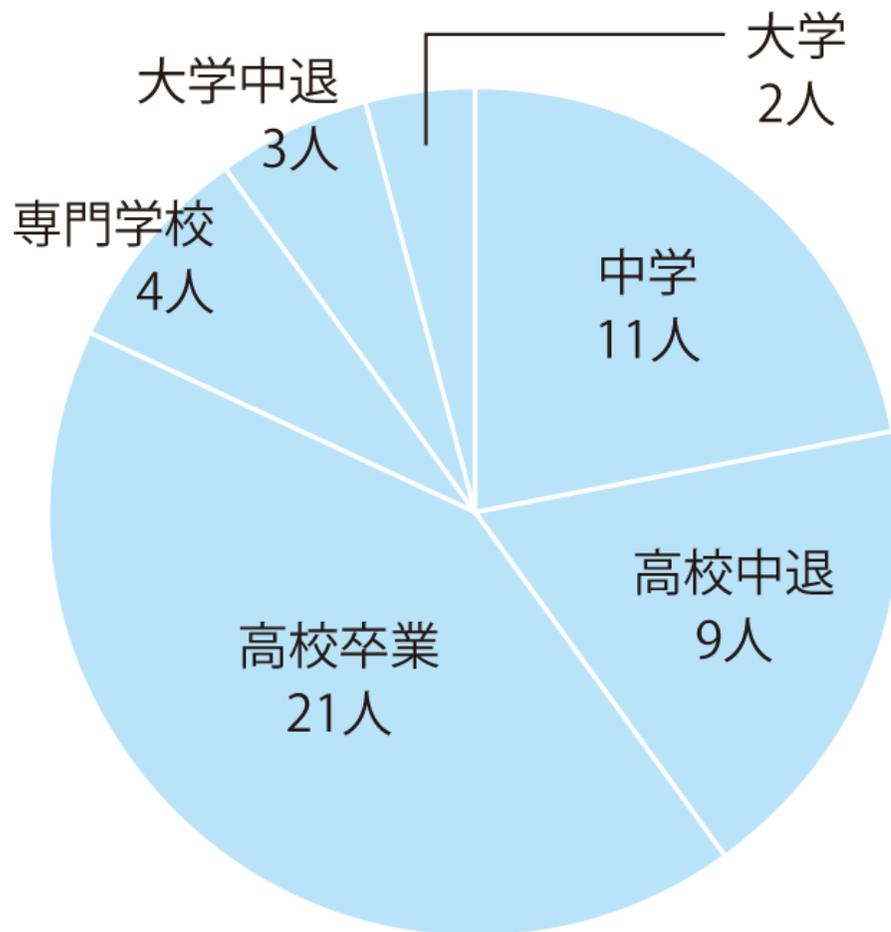
主な養育者



実家を出た理由



最終学歴



疑問2

なぜ実家に帰らないの？

彼らはどのように育ってきたのか？



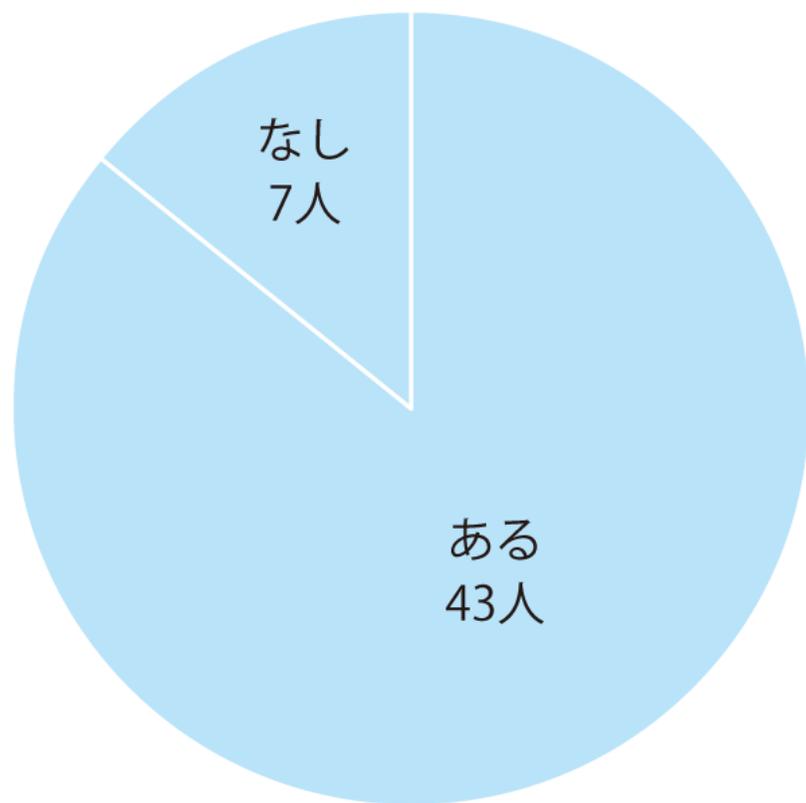
- ・施設で育った、親との関係悪化や家族まるごと貧困状態にあり、「帰る家がない」
- ・学歴が相対的に低く、社会人開始時より不利な状況
- ・7割以上が「家族と連絡が取れない、取らない」

疑問3

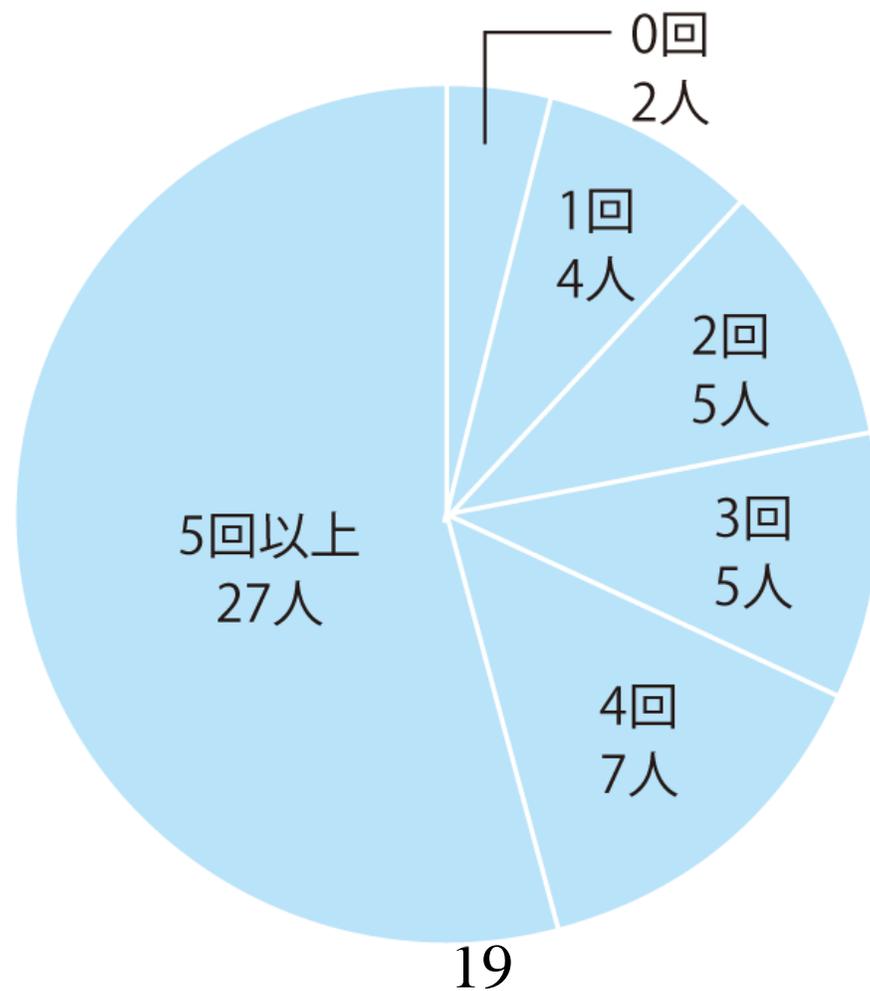
なぜ働かないの？

彼らはどんな仕事を経験してきたのか？

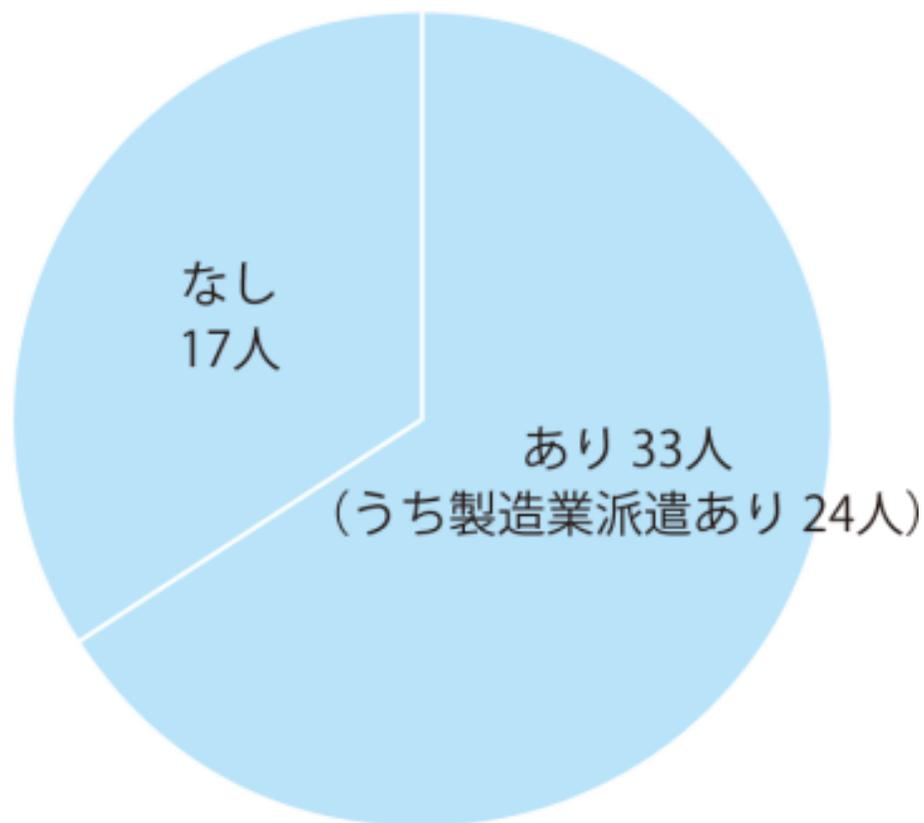
正社員経験



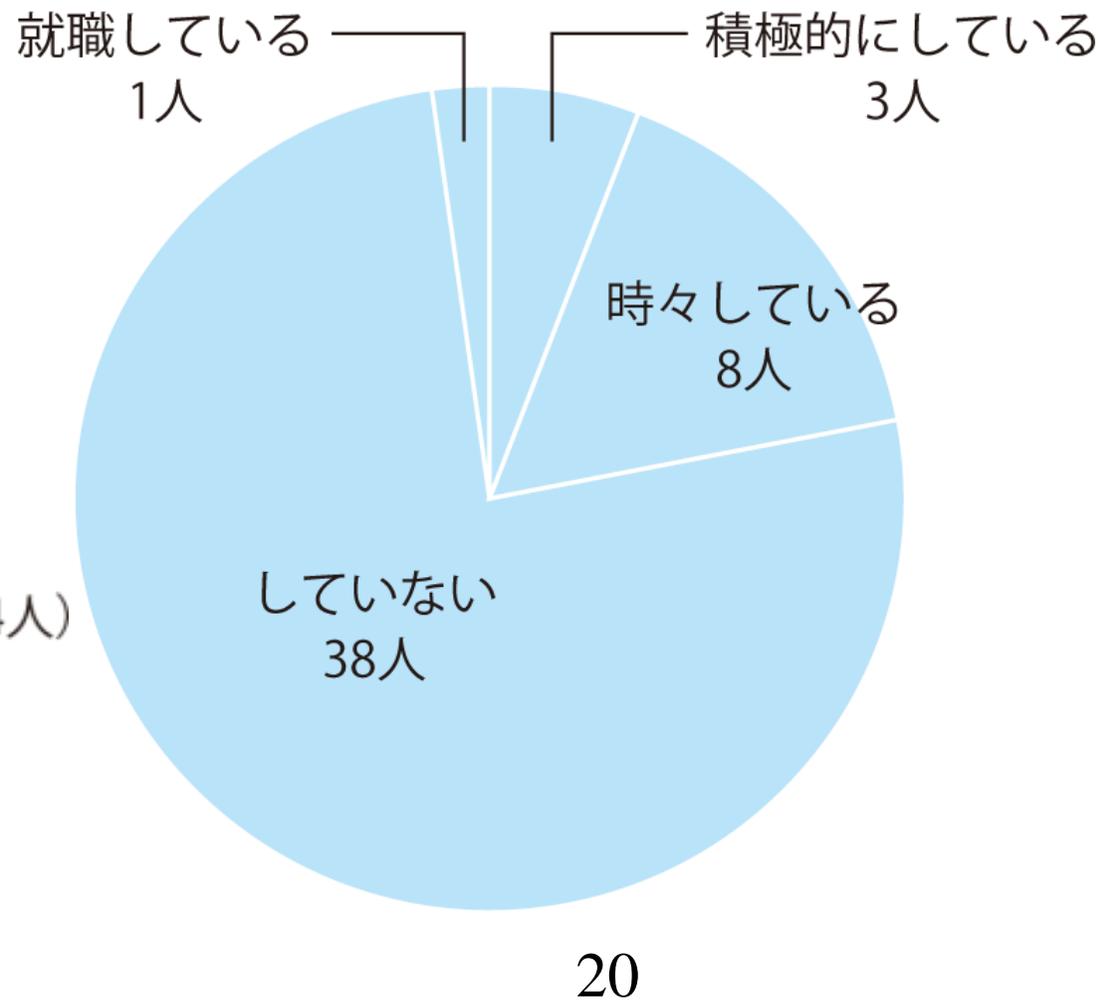
転職回数



派遣社員経験



就職活動



疑問3

なぜ働かないの？

彼らはどんな仕事を経験してきたのか？

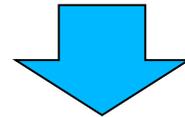


- ・過去の仕事で受けたトラウマ（解雇、倒産、人間関係のトラブル等）
- ・物理的に働けない（住所、身分証、本人確認証、保証人等）
- ・「代替可能ですすぐ切り捨てられる」労働力として働いてきたことによる、自信と意欲の喪失

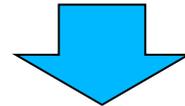
若者ホームレス支援ネットワーク立ち上げ準備事業(WAM助成)

【実施内容】

- ・2010年12月「若者ホームレス白書」を発行(2014年8月までに2万5千部発行)
- ・若者ホームレス支援ネットワーク委員会の開催
- ・若者ホームレス支援ネットワーク研究集会開催(参加者:ホームレス支援者、若者支援者、障害者支者等)



児童養護施設出身者、ニート経験者、親が亡くなり路上にでた人、障害を抱えた人、なども多く、問題が地続きであることが確認された。



目に見える「若者ホームレス」の増加と並行し、「ひきこもり」「ニート」など150万人の若者が就業できない状況にあり、これらの若者の自立に向けた対応は日本社会にとっても急務の課題

*「ニート状態」「ひきこもり状態」「ホームレス状態」と縦割りの対応



若者ホームレスが直面している問題

・緊急性の高い問題

- 情報不足
- 緊急避難場所の欠如
- 生活必需品の不足
- 医療サービスからの排除

・心と身体の問題

- 心と身体の病
- 障害発見の困難
- 意欲の低下
- 関係喪失と孤立化

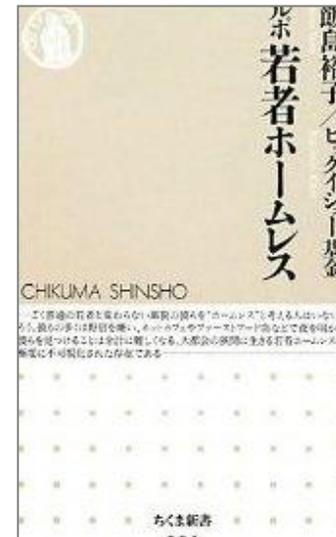
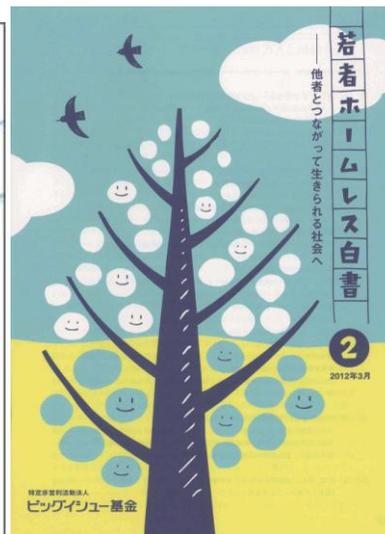
・暮らしの問題

- 公共セーフティネットの限界
- 低家賃住宅の不足
- 生活能力の不足
- 借金等の問題

・就業の問題

- 経験と職業観の不足
- 就労要件のハードル
- 就業維持の困難
- 安定した雇用の不足

「若者ホームレス支援」から、
「社会的困難を抱える若者応援」へ

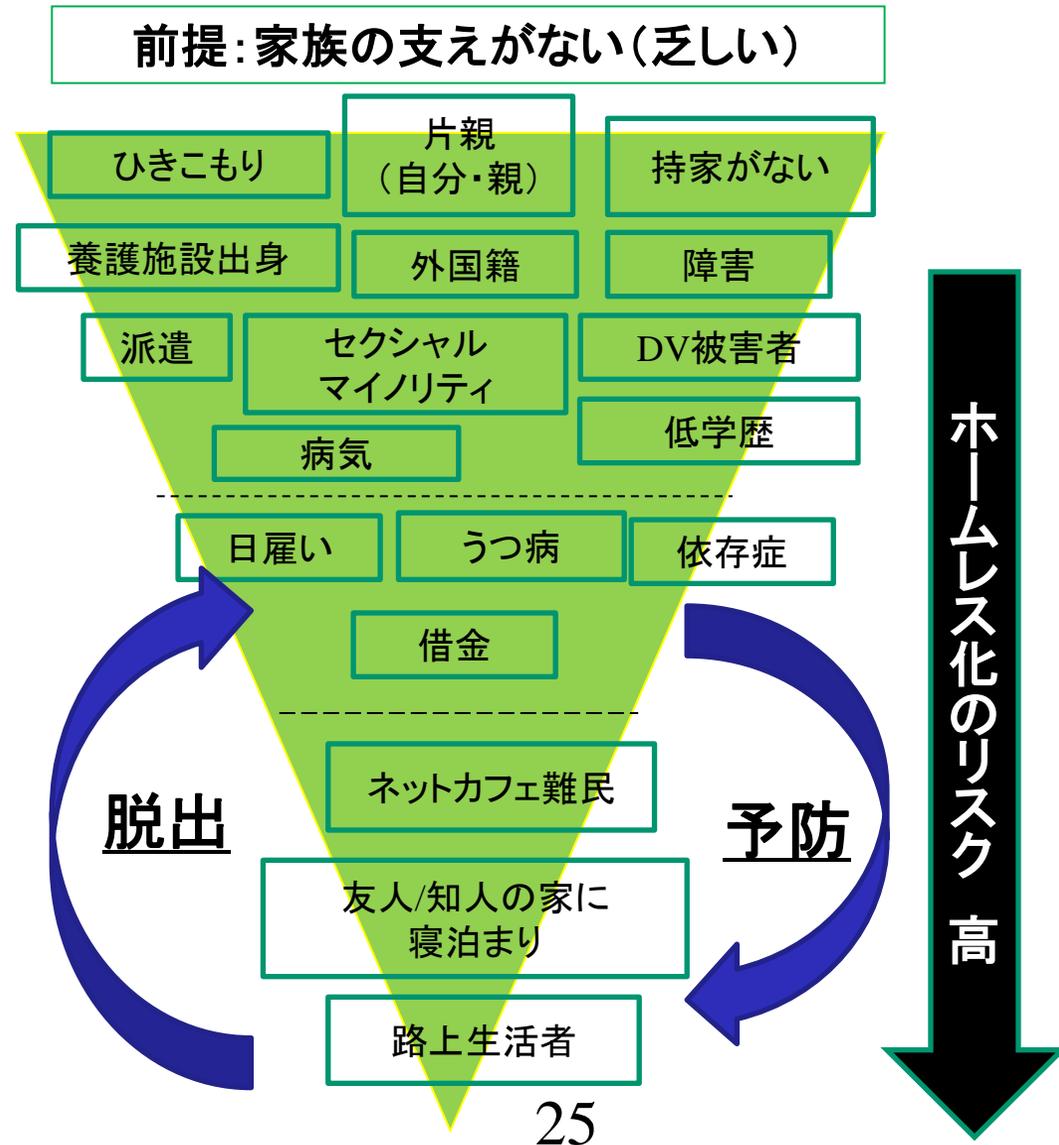


社会的困難をもつ若者が、

①ホームレス状態に陥ることを予防する

②ホームレス状態から早く脱する

ための支援者間のつながり
『社会的不利・困難を抱える若者応援ネットワーク事業』
を立ち上げる。



ネットワーク型支援が目指すもの

- 若者が抱える、**複合的な問題**に対応する
 - **制度のはざま**にいる当事者を、つなぐ
 - **支援者の孤立**を防ぐ
- ➡ 若者の応援プログラムをもつ団体が、それぞれの専門領域を超えてつながることが必要

社会的困難を持つ若者応援ネットワーク展開事(WAM助成)



- 「社会的不利・困難を抱える若者応援プログラム集」を発行
 - 首都圏で活動する40団体の具体的なプログラム内容
 - 70団体以上の活動概要
 - 各分野で抱えている課題を共有するためのコラムなどを掲載。
⇒若者応援に関わる支援スタッフらを中心に3,000部以上発送(14年8月末現在)。



研究集会

- 3回の若者応援ネットワーク研究集会を開催
 - 開催テーマ
ネットワークによる当事者支援のあり方について
ネットワークを生かした当事者支援のあり方と実践
「見えない当事者」へ、情報をどう届けるか

- ・若者の貧困や孤立を防ぐための政策を提案

「若者政策提案書」を発行

⇒若者の貧困や孤立を防ぐための政策を提案



若者政策提案書提案・検討委員会

- ・「若者政策提案書」発表シンポジウムを開催

【日時】2014年12月14日(日)14時～17時(13時半より受付開始)

【場所】損保ジャパン日本興亜 本社ビル2F 大会議室

【定員】250名(先着順)

第1部 基調講演「いま、なぜ若者政策が必要か？」

第2部 “若者政策提案・検討委員会”からの問題提起「これからの若者政策のあり方」

第3部 市民討論「みんなで語ろう！ 若者政策」

- ・「中央ろうきん若者応援ファンド」へのアドバイザー協力

- ・社会的困難を抱える若者当事者へのアウトリーチ活動の検討

ありがとうございました

